

行事などでの活用

学級会で係を決めるときに

授業支援ソフトなどを活用し、欠席者も含め全員が参加できるようにしています。

欠席者も参加可能



文化祭に向けて

本番に向けて、ネットワークを使って友達と協働しながらアイデアを出し合い、考えをまとめました。

離れた場所でも可能



修学旅行での学びを共有

旅行先でのインタビューの様子などをタブレットで撮影し、修学旅行報告会で動画を他学年に発信しました。

撮影した動画を発信



自分たちの取り組みを紹介する動画の撮影や編集作業も生徒が行い、全学年に配信しました。

撮影・編集



デジタル・シティズンシップ教育に取り組んでいます

吹田市ICT教育グランドデザインでは、学校におけるICT教育の土台となる部分にデジタル・シティズンシップ教育(以下、DC教育)を位置付けています。



DC教育って何ですか？

ネット利用が日常化したデジタル社会を生き抜く子供たちを、「テクノロジーの善き使い手」に育てるための教育です。

DC教育で育てたい具体的な力は？

- 責任を持って前向きにICTを活用できる力
 - デジタルの世界を公共の場と捉えることができる力
 - ICT活用について、ウェルビーイング※の視点で、立ち止まって考える力
- ※心身ともに幸福・健康で、社会的にも満たされた状態。

学校でどんな取り組みを行っているの？

各小中学校では、動画教材などを活用しながら、対話を大切にしたDC教育の授業を年間3～4時間実施しています。

実際に小学1～4年生の授業で使った動画教材を公開しています。



動画教材はこちら

もっと詳しく知りたい！

DC教育研究の専門家である国際大学准教授の豊福晋平さんの協力を得て作成した市民向け動画を公開しています。



市民向け動画はこちら

教育理念

今 吹田から未来の力を
いのちがやき ともにつながり
あすを拓く 吹田の教育

第72号 教育だより

令和4年(2022年)2月1日 発行 吹田市教育委員会 朝日町3-408 ☎6155・8084 FAX6155・8077

広がる タブレット・パソコンを使った学び

児童・生徒に1人1台、学習用端末(タブレット・パソコン)が配備されてから約1年がたちました。子供たちは学習用端末を使用して、到達度や興味・関心などに応じて個別で学習をしたり、友達と意見交換しながら協働学習を行ったりしています。

☎教育センター(出口町 ☎6388・1455 FAX6337・5412)

授業での活用

授業では、カメラ機能を使った写真・動画撮影などを効果的に取り入れ、楽しく学習できるような工夫をしています。学習の様子は、教育センターのホームページから動画で視聴できます。



同センターのページ

授業の様子をのぞいてみよう



国語×図工

色画用紙に毛筆で文字を書いて写真に撮り、文字に合った背景を合成することで、自分の思いをより豊かに表現することができます。



体育

カメラ機能を使って、友達同士で運動の様子を撮影し、改善方法を一緒に考えます。



動画だと体の動きが分かりやすいね

音楽

音楽制作アプリを使うと、タブレットが楽器に大変身。一人ひとり違った楽器を演奏することができます。



さまざまな楽器を知るきっかけに

